

受難日礼拝
キリストの最後の七つの言葉
「①赦しの言葉」
ルカ 23:34

2019.4.19 HKJCF

1

御言葉

ルカ 23:34

「父よ。彼らをお赦してください。
彼らは、何をしているのか
自分でわからないのです。」

2

概観

十字架は愛と赦しのシンボルとして 認識するために、イエス様が最初に 語られた言葉から学びたい。

アウトライン

1. 祈りの対象：父よ
2. 祈りの模範：お赦してください
3. 祈りの内容：自分でわからない

3

1. 祈りの対象：父よ

- 1) 父なる神との関係：「アバ、父よ」；従順と信頼の関係→ゲッセマネの祈り（ルカ 22:42）。
- 2) 苦しい時こそ：厳格な裁判官ではなく、憐れんでくださる父親である⇒逃げるのではなく、父の胸に飛び込んでいく姿勢。
- 3) 旧約預言の実現：苦しまれる神のしもべ；とりなしをされるイエス様（イザヤ 53:12）。
- 4) 父の涙：自分の子供を亡くす親の心境；殺害者を赦す異常な依頼。

4

2. 祈りの模範：お赦してください

- 1) 最初と最後の行為：祈り（洗礼式、ルカ3:21）；釘で刺されている時に、ほとぼした祈り。
- 2) 人の子として：御子としての権利を放棄し、父なる神に赦しの権限をゆだねた。
- 3) 黙っておられなかった：尋問、誤解や迫害の時は沈黙；十字架の上でとりなしをされた。
- 4) 教えの模範：「侮辱する者のために」（ルカ 6:27-28）。人の悪はすべて父なる神に対して行っている→祈られる、祈る、赦す、和解。

5

3. 祈りの内容：自分でわからない

- 1) 無知の罪：無知や無意識でも、罪は罪で裁かれる＝無実ではないから。世界の救い主、神の御子を処刑しているとは...
- 2) 義と愛の成立：イエス様が解決案；罪の裁きの対象となってくださった。
- 3) 神の愛の大きさ：祈られた人々は、祈られるに値しない人々⇒見返りを期待しない愛。
- 4) 救いの範囲：過去、現在、将来の罪も赦される→救いと神の愛の確信（ローマ 5:8）。

6